

# タチウオ漁場分布調査 (タチウオ漁場開発調査)

大 嶋 洋 行・外 間 実\*<sup>1</sup>

## 1. 目 的

深海性タチウオの漁場拡大を図るため漁場分布を実施する。

## 2. 調査方法

調査は調査船「くろしお」(34.82t)を使用し、沖縄島周辺の水深300~400mを1マイルメッシュに区切り、これをもとに漁獲の有無を確認する方法で行った。漁法は一本釣りで漁具は前年度同様<sup>1)</sup>とした。餌はサンマまたはムロアジを用いた。なお、今年度の調査は渡名喜島周辺海域、北部海域の一部について実施し、前年度までにほぼ調査の終了した南部海域について補足調査を行った。

## 3. 結果と考察

### 1. 渡名喜島周辺海域(図1)

渡名喜島周辺海域はその北側と南東側に水深300~400mの海域が広がっている。北側の当該水深帯は東西に帯状に分布しているが、比較的傾斜が急でその範囲は狭い。南東側は慶良間列島西から久米島南へ続いており、その範囲は北側に比較して広い。渡名喜島周辺海域は、現在タチウオ漁場として利用されていない。

タチウオの漁獲状況は渡名喜島東方沖の一カ所で漁獲された以外はまったく漁獲されなかったが、漁獲のあったポイントは好漁であった。当海域の調査は9月に実施しており、タチウオの漁期中ではあったが、漁獲状況から渡名喜島周辺海域にはタチウオ漁場は少ないことが予想された。

タチウオ以外の漁獲魚種は表1に示したが、タチウオが漁獲されたポイントの南東側でキビレアカレンコ1尾、屋嘉比島西方沖でハマダイ2尾などの漁獲があった。

### 2. 北部海域(図2)

北部海域は恩納村沖から伊江島沖にかけて調査した。本海域は沖縄島沿いに300~400mの水深帯が分布しており、名護湾沖では当該水深帯が広がっている。

タチウオの漁獲状況は名護湾南部沖一帯、伊江島西方沖及び恩納村沖の一部で好漁するポイントがみられたほか、伊江島南西沖一帯でも漁獲が確認された。当海域はタチウオの漁獲が確認されたポイントは多かったが、300~400m水深帯も広く、全域の調査できなかったため、調査したポイント以外にも漁場となりうる海域があることが予想される。このため、当海域については今後も調査を継続する必要がある。

タチウオ以外の漁獲魚種(表1)は伊江島西方沖でキビレアカレンコ2尾漁獲された以外はツノザメ類がほとんどであった。

### 3. 南部海域(図3)

南部海域は前年度までの調査<sup>2)</sup>を補足する形で行った。当海域の300~400m水深帯は沖縄島南部から南西方に帯状に広がっており、ルカン礁南からその幅が広がる。

タチウオの漁獲状況はルカン礁南一帯と喜屋武岬南東沖の一部に好漁するポイントがみられたほかはほとんど漁獲はできず、当海域のタチウオの漁場は比較的限られたところに分布するものと思われた。

タチウオ以外の漁獲魚種(表1)では喜屋武岬南方沖でキビレアカレンコの漁獲がやや多かった以外はツノザメ類がほとんどであった。

\*<sup>1</sup> 現所在 環境保健部 “こんぺき”

漁業資源調査報告書  
 資源調査報告書

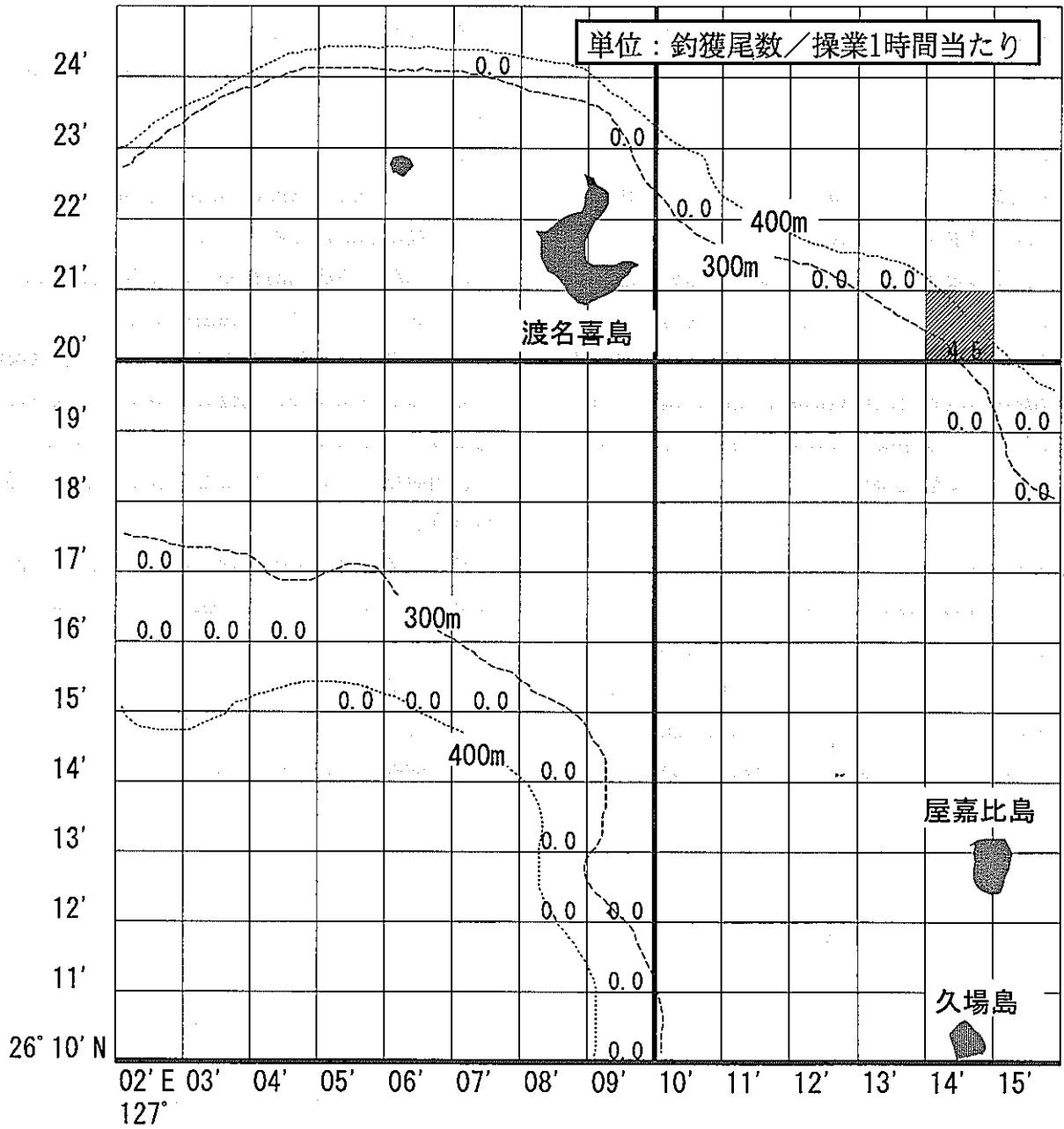


図1 渡名喜島周辺海域タチウオ漁場調査結果

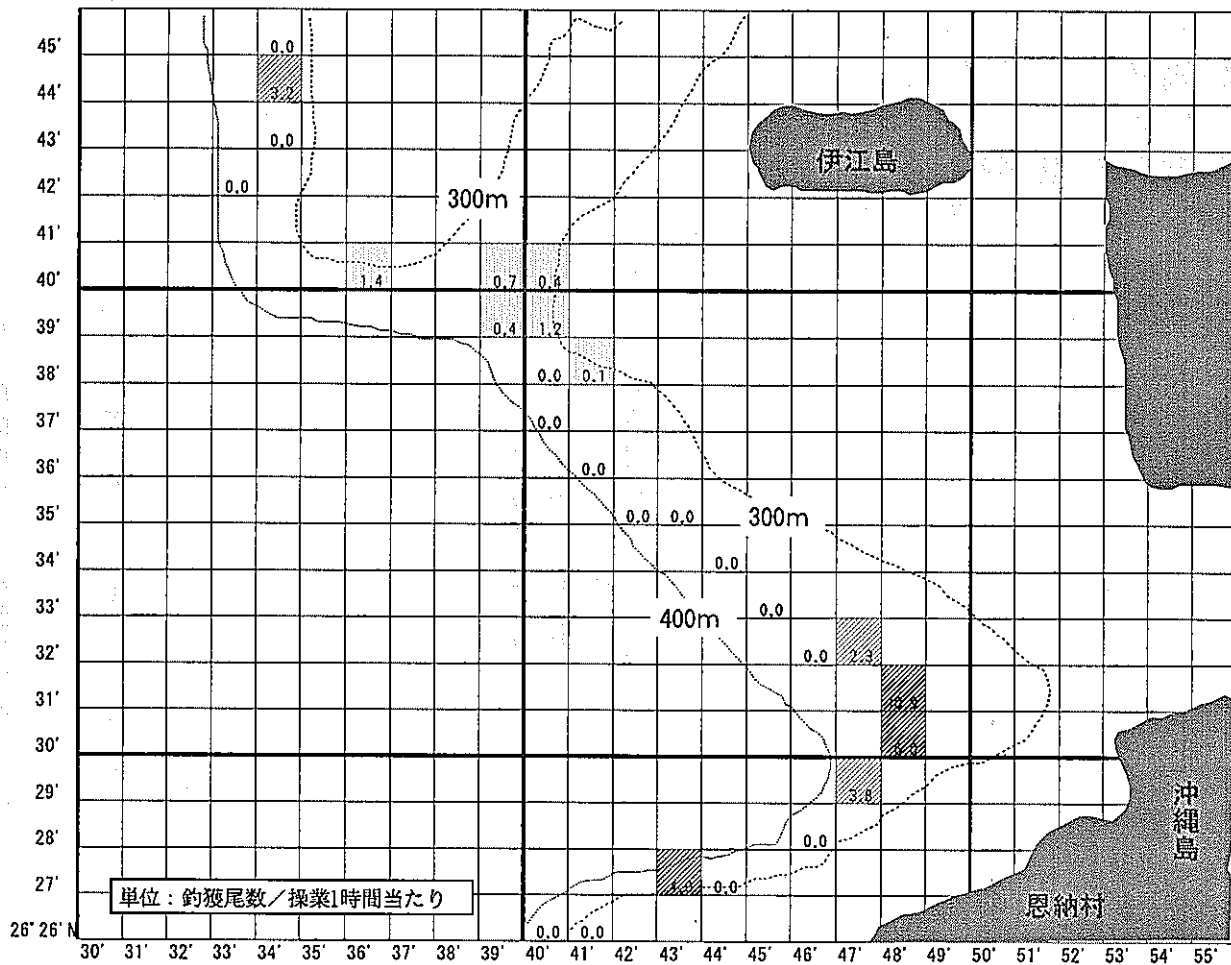


図2 北部海域タチウオ漁場調査結果

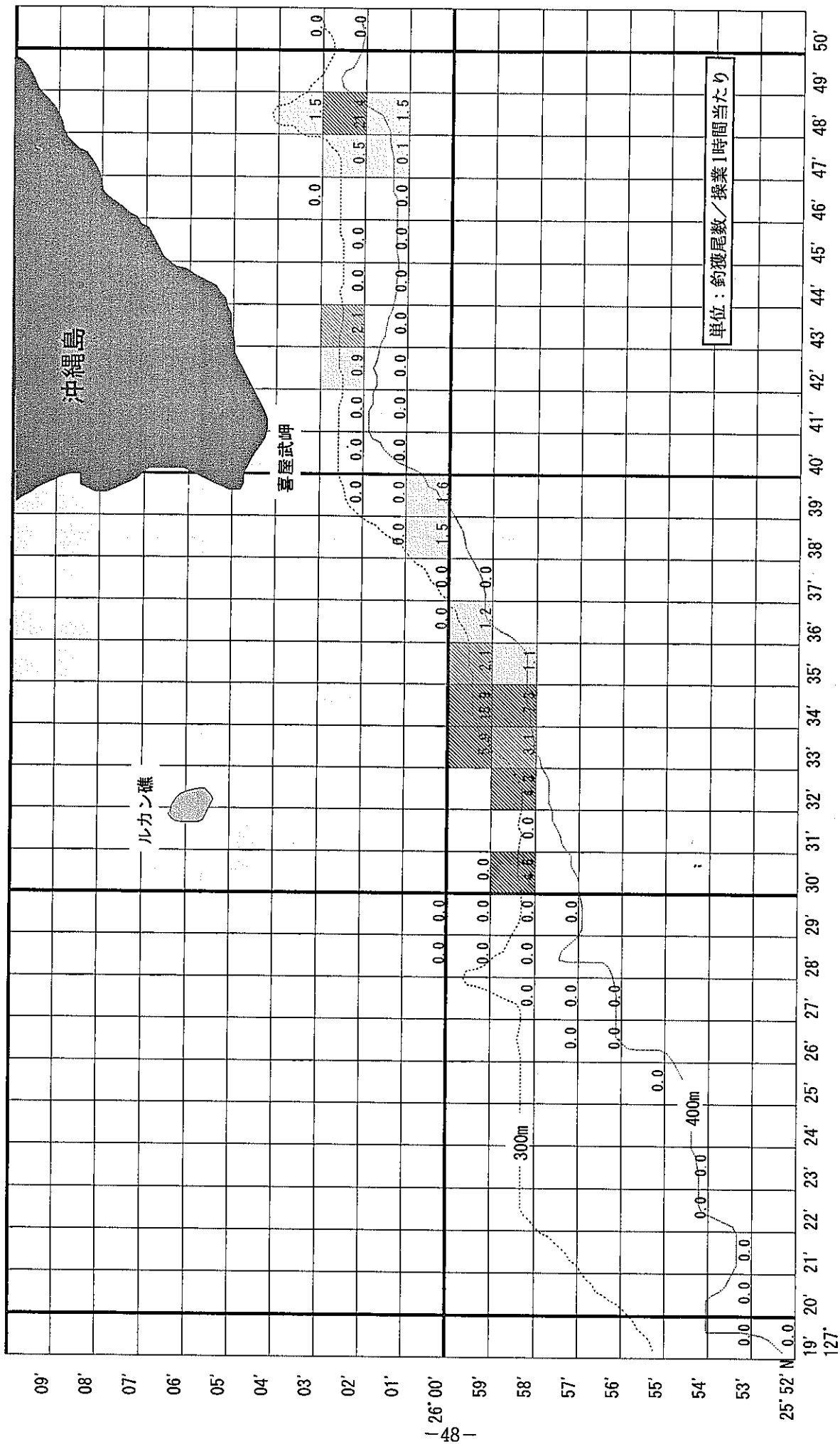


図3 南部海域夕才漁場調査結果

表1 タチウオ以外の漁獲魚種

|      | 漁獲位置    |          | 魚種名及び備考           |
|------|---------|----------|-------------------|
|      | 北緯      | 東経       |                   |
|      | 26° 20' | 127° 14' | カマサ               |
| 渡名喜島 | 26° 19' | 127° 15' | ヒレカレンコ1尾          |
| 周辺海域 | 26° 14' | 127° 8'  | ハマダイ1尾            |
|      | 26° 12' | 127° 8'  | ハマダイ1尾            |
|      | 26° 11' | 127° 9'  | ツバメsp. 1尾         |
|      | 26° 44' | 127° 34' | ツバメ3尾:カサハフガ'多く移動  |
|      | 26° 43' | 127° 34' | ヒレカレンコ1尾、ツバメ2尾    |
|      | 26° 42' | 127° 33' | ヒレカレンコ1尾          |
| 北部海域 | 26° 38' | 127° 41' | ツバメ3尾             |
|      | 26° 35' | 127° 43' | ツバメsp. 1尾         |
|      | 26° 33' | 127° 45' | ツバメsp. 1尾         |
|      | 26° 32' | 127° 47' | ツバメsp. 1尾         |
|      | 26° 31' | 127° 48' | ツバメsp. 1尾         |
|      | 26° 27' | 127° 44' | キンメダイ             |
|      | 26° 26' | 127° 40' | ナツメダイ1尾、ツバメsp. 1尾 |
|      | 26° 3'  | 127° 48' | ナツメダイ             |
|      | 26° 2'  | 127° 48' | ツバメ1尾、ナツメダイ1尾     |
|      | 26° 2'  | 127° 48' | ナツメダイ2尾、ツバメsp. 3尾 |
|      | 26° 2'  | 127° 48' | ナツメダイ             |
|      | 26° 2'  | 127° 42' | ヒレカレンコ            |
|      | 26° 2'  | 127° 41' | ウエイ               |
|      | 26° 2'  | 127° 40' | タコ(マダコ?)          |
|      | 26° 2'  | 127° 39' | ヒレカレンコ            |
|      | 26° 1'  | 127° 41' | ツバメ3尾             |
|      | 26° 1'  | 127° 39' | ツバメ               |
| 南部海域 | 26° 1'  | 127° 39' | ハマダイ              |
|      | 26° 1'  | 127° 38' | サメsp. 1尾          |
|      | 26° 0'  | 127° 38' | ヒレカレンコ、ツバメsp.     |
|      | 26° 0'  | 127° 36' | ヒレカレンコ            |
|      | 25° 59' | 127° 34' | ツバメsp. 1尾         |
|      | 25° 59' | 127° 34' | ツバメsp. 1尾         |
|      | 25° 59' | 127° 33' | イトアワサギ? 2尾        |
|      | 25° 59' | 127° 29' | ?                 |
|      | 25° 58' | 127° 34' | イラカワカsp. 1尾、サメ1尾  |
|      | 25° 58' | 127° 33' | フィリピンサメ1尾         |
|      | 25° 58' | 127° 30' | ツバメsp. 4尾、ナツメダイ1尾 |
|      | 25° 58' | 127° 28' | ツバメsp. 2尾         |
|      | 25° 58' | 127° 28' | ツバメsp. 1尾         |
|      | 25° 57' | 127° 27' | イトアワサギ            |
|      | 25° 57' | 127° 26' | ?                 |
|      | 25° 56' | 127° 27' | イトアワサギ            |
|      | 25° 53' | 127° 20' | ツバメsp. 2尾         |
|      | 25° 53' | 127° 19' | ナツメダイ1尾           |

4. 要 約

・深海性のタチウオの分布について渡名喜島周辺海域、北部海域の一部と南部海域沖縄島中南部の水深300~400m海域を調査した。

・渡名喜島周辺海域のタチウオの漁獲状況は北側海域で一カ所で漁獲された以外はまったく漁獲されなかった。

・北部海域のタチウオの漁獲状況は名護湾南部沖一帯と伊江島西方沖、恩納村沖の一部で好漁するポイントがみられた。

・南部海域のタチウオの漁獲状況はルカン礁南一帯と喜屋武岬南東沖に一部好漁するポイントがみられた。

・南部海域のタチウオの漁場は比較的限られたところに分布するものと思われた。

参考文献

- 1) 大嶋洋行(1995): タチウオ漁場調査(漁業資源開発調査). 沖縄県水産試験場事業報告書(平成5年度), 3-5.
- 2) 大嶋洋行・外間 実(1996): タチウオ漁場調査(漁業資源開発調査). 沖縄県水産試験場事業報告書(平成6年度), 14-18.